

1 学年国語科「ものの名まえ」第4～6時 タブレット（1人1台）



単元のめあて

意味による語句のまとまりや，上位語・下位語の関係に気付くことができる。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ①「ものの名まえクイズ大会」をするという学習の見通しをもつ。
- ②教材文を読み，物についている名前に興味をもち，上位語と下位語について知る。
- ③身の回りにあるいろいろな物の名前を上位語・下位語に分けてノートにまとめる。
- ④シンキングツールの Y チャートで，語句の分類を行うことで，上位語と下位語の理解を深める。
- ⑤クラゲチャートを使うことで，上位語と下位語の関係を把握し，問題を作る。
- ⑥全体でクイズ大会をして，感想を交流する。

☆タブレット活用☆

- ・Yチャートで，上位語と下位語が混ざった言葉の短冊を仲間分けする。
- ・クラゲチャートを使って，短冊が上位語と下位語のどちらになるのか考える。
- ・クラゲチャートで，上位語か下位語のいずれかを問うクイズを作る。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・早くクイズが作れた子は，どんどん新しいクイズを作ることができる。
- ・個人で作ったクイズを提出させることで，全体でクイズの問題を共有することができる。
- ・友達どうして問題を送り合って，たくさんの問題を解くことができる。